

安心ネットづくり促進協議会  
調査企画委員会  
児童ポルノ対策作業部会  
最終報告書

平成 22 年 6 月 8 日

## はじめに

調査企画委員会児童ポルノ対策作業部会は、平成 21 年 2 月 27 日の安心ネットづくり促進協議会の設立総会において設置された作業部会である。設置後約 1 年あまりの間、当作業部会においては、児童ポルノ禁止法の改正動向、児童ポルノに対する国際的な対応動向などについて情報交換を行うとともに、児童ポルノ禁止法の専門家を招いて同法の論点や裁判例についての学習を行ってきた。また、今後の我が国におけるインターネット上の児童ポルノ流通防止策について議論を行った結果、当面の検討対象をブロッキングに絞ることとし、海外の事情、技術的問題点、法的问题点を明らかにすべく、当作業部会の内部に諸外国調査サブワーキング、ISP 技術者サブワーキング、法的问题点検討サブワーキングの 3 つのサブワーキング（以下、SWG と称します。）を設置した。3 つの SWG のうち、法的问题点検討 SWG の成果物については、本年 3 月 30 日「児童ポルノ対策作業部会 法的问题点検討サブワーキング報告書」として、すでに公表済みである。この度、他の 2 つの SWG においても調査・検討が完了し、当作業部会の承認を得たので、先に公表済みの法的问题点検討 SWG の報告書も合わせて、全体を最終報告書として公表することとなった。本最終報告書の主たるテーマは、児童ポルノのブロッキングであるが、諸外国調査 SWG のみは、今後の児童ポルノ対策の検討の観点から、ブロッキングに限らず、海外の児童ポルノ規制全般についても情報収集を行っている。

各 SWG からの個別報告書の概要は、以下のとおりである。まず、諸外国調査 SWG からは、実際に 2 名の構成員がイギリスとノルウェーに赴いてヒアリングを行った。ヒアリング対象者のプライバシー等の観点から、個別報告書におけるヒアリング結果の報告は概要に留まるものであるが、我が国における今後の児童ポルノ対策を検討するうえで有用な情報が含まれている。具体的には、それぞれの国における児童ポルノを規制する法律の概要、採用するブロッキングの方式、ブロッキングの対象などである。次に、ISP 技術者 SWG は、大手 ISP の技術者により構成されており、ブロッキングの各方式の特徴、利点、問題点等について技術面・コスト面からの検討を行った。その成果として、個別報告書には各手法の正確な説明が記載されている。また、ISP 事業者団体の協力を得て、全国の ISP に対して、ブロッキングの手法別に費用や導入可能性、導入の際に想定される問題などについてアンケート調査を行った。個別報告書におけるアンケート回答とその分析は、今後、実際に ISP がブロッキングを行ううえで重要な資料となるであろう。最後に、法的问题点検討 SWG は、少壮気鋭の研究者と経験豊かな実務家という異例の組み合わせで構成されており、通信の秘密と児童の権利の保護という、いずれ劣らぬ重要な権利の衝突の問題について徹底した議論を行った。個別報告書は、現行法の下でも緊急避難によって児童ポルノのブロッキングが正当化されうるという結論を示しており、児童ポルノに対して適法なブロッキングを行うための条件と、他の違法情報へのブロッキングの拡大に対する懸念を示している。

インターネット上において多数の児童ポルノが流通していること、これに対して効果的な方策を講じることが喫緊の課題であることについては、多言を要しないところである。その反面、ブロッキングを採用するためには、ISP を利用するすべてのインターネットユーザーのアクセス先をチェックするほかはなく、この手法それ自体が重大な権利侵害の危険を秘めている。この問題を解決し、民間の自主的取組によってブロッキングを行うことは、直接的に児童ポルノの流通による児童の権利侵害を防止する効果を持つ一方で、間接的には、国家による強力な規制が発動されることを防ぐ作用を持っていると考えられる。本最終報告書は、全体として、ISP の自主的取組によるブロッキングが可能であることを示唆するものであり、当作業部会は、ISP によるそのような取組がことを希望している。もともと、ブロッキングの手法、ブロッキング対象リストの作成・管理のあり方等については、若干の検討課題を残すところであり、当作業部会は引き続きこれらの課題について、調査・検討に当たる予定である。

当作業部会は、本最終報告書が ISP による自主的取組を通じて、インターネット上の児童ポルノの流通防止につながることを強く願うものである。

なお、各 SWG がそれぞれ報告書をまとめたので、用語や表記は、それぞれのものによっていることをお断わりしておきたい。